

被爆80年 西多摩3コース17日から行進

西多摩平和行進

2025年7月
国民平和実行委員会
問合せ・連絡先
0428-24-8644

イラスト、似顔絵は
青梅市在住の千葉宗
夫さん（右）に描い
ていただきました。

日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書 檜原・吉本村長が署名

バスで移動

檜原村甲武トンネル
(山梨県より引き継ぎ)
7月17日(木)
集会 13時頃
出発 13時30分

檜原村役場
7月17日(木) 17時 着
7月18日(金)
出発式8時50分
出発 9時

**あきる野市役所
五日市出張所**
到着 7月18日(金)
11時30分(昼食)
出発 13時00分頃

日の出町役場
7月18日(金)
14時30分頃 到着
7月19日(土)
出発式9時
出発 9時10分

※ 甲武トンネルまでJR武蔵五日市駅前からバスが出ます

奥多摩町役場
7月17日(木)
集合 13時15分
出発 13時40分

**福生公園
集 結 集 会**
7月19日(土)
到着 12時30分頃
(昼食休憩)

**あきる野
市役所本庁舎**
7月19日(土)
10時35分 到着
出発 10時50分

**JR御嶽駅そば
東峯園・駐車場**
7月17日(木)
16時45分到着
7月18日(金) 集合・
出発式 9時50分
出発 10時10分

福生市役所
7月19日(土)
12時頃到着
(約15分休憩)
出発 12時15分

瑞穂町役場
7月19日(土)
集合・出発式
10時30分
出発 10時40分

青梅市役所
7月18日(金)
13時10分頃到着
7月19日(土)
出発式8時45分
出発 9時

羽村市役所
7月19日(土)
10時30分頃到着
(約15分休憩)
出発 10時50分

※ 甲武トンネルまでのバスの運行
12時10分 渡辺090-5502-619
※ 猛暑や急激な天候悪化の場合は、
日程・時間等変更することがあります。

初めて賛同された団体



今年の自治体要請（平和行
進への理解と協力を求める）
は、被爆80周年の年であり、
昨年の被団協のノーベル賞受
賞もあり、概ね好意的に受け
止めてくれました。

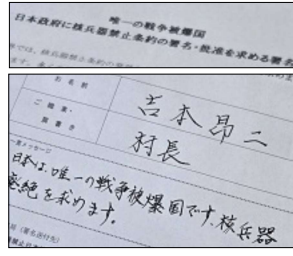
とりわけ檜原村では、6月
5日、吉本昂二村長と面会の
おり、事前をお願いしてい
た、政府に対し核兵器禁止
条約に参加を要請する首長
の署名を、すぐに同意をい
ただき感動しました。

地元檜原村の酒枝夫妻と
あきる野原水協の前田さん
にも立ち会っていただき、

吉本村長と親しく懇談。高山実行委員長へ村
長から直接手渡されました。西多摩では、自
治体首長の署名は日の出町に続いて2人目と
なりました。

- 核兵器禁止条約**
- 条約賛成国＝122か国 (2017年)
 - 署名国＝94か国
批准国＝73か国
 - 日本政府に条約参加を
求める意見書を採択した
自治体＝717自治体
(2025年4月7日現在)

（左）とメ
ンバ
ー
目本署核
員）村名兵
会。長し器
の受たの
高け右檜
山取か原
委るら村を
員実3の求
長行人吉め



- フォークグループ・モグサンズ
- NPO法人三宝(さんぼう)会＝日の出町
- ガジェットセール＝青梅市
- 魚つかみ取り・バーベキューの「さかな園」＝日の出町

がんばってください応援しています 賛同団体 (7月1日現在、順不同・敬称略)

原水爆禁止あきる野協議会 原水爆禁止青梅協議会 西多摩地区労働組合総連合 多摩
西部民主商工会 東京土建一般労組西多摩支部 東京都教職員組合西多摩支部 新日本
婦人の会青梅支部 新日本婦人の会日の出支部 年金者組合西多摩多摩川支部 コスモ
ス西多摩 日本共産党西多摩青梅地区委員会 横田基地の撤去を求める西多摩の会 国
民救援会秋川流域支部 三多摩健康友の会多摩川支部 三多摩健康友の会青梅・奥多摩
支部 三多摩健康友の会秋川流域支部 年金者組合西多摩秋川支部 ピースサイクル三
多摩ネットワーク 郵政産業労働者ユニオン多摩地方支部 民主青年同盟西多摩青梅地
域協議会 健生会西多摩訪問看護ステーション 西多摩社会保障推進協議会 フォーク
グループ・モグサンズ【あきる野】あきる野9条の会 玉泉寺 いたはな音楽教室 金
玉山正光寺 なるしま音楽教室 甘味cafe暖家 新日本婦人の会あきる野支部 天理教
武宮分教会 純福音教会秋川祈禱院 東京都高等学校教職員組合五日市市定時制分会 再
審法改正をめざす秋川流域市民の会 G I D西多摩【青梅】JMIUアジア・エレクトロニ
クス支部 多摩西部民主商工会・青年部 多摩西部民主商工会・婦人部 多摩西部民主

商工会・共済会 2022ピースウェーブ・フェスティバルin青梅準備会 中華東峯園
青梅音楽を愛する9条の会 歌声喫茶「ねがい」 うたごえサークル麦笛 間修院 「Ke
music」 朗読サークル麦わら帽子 青梅生活と健康を守る会 三多摩演劇をみる会しも
ばしらⅢサークル有志 三多摩演劇をみる会かげろう2サークル 三多摩演劇をみる会け
やきサークル 宗教法人乗願寺 三多摩演劇をみる会ひだまりサークル有志 社会福祉労
組青梅ゆりかご保育園分会 国民救援会青梅支部 ガジェットセール【羽村】国民救援会
羽村支部 羽村平和委員会 玉川神社 はむら九条の会 天理教空幸分教会 阿蘇神社
羽村相互診療所 羽村教育を考える会 東京都高等学校教職員組合羽村校分会 羽村まち
づくり懇談会 バプテスト羽村教会 みどりヶ丘薬局 五ノ神社【福生】新日本婦人の
会福生支部 福生革新懇 福生平和委員会 憲法9条・福生市民の会 N工房【日の出】岩
井院 白山神社 戦争を語り継ぐ会 天理教武平分教会 日の出9条の会 NPO法人三宝
(さんぼう)会 魚つかみ取り・バーベキューの「さかな園」【瑞穂】みずほ9条の会 三多
摩演劇を見る会・わなサークル 新日本婦人の会瑞穂・お茶の実会【檜原】(宗)松原福音
教会 森の風

全国各地で網の目に

被爆80年 若者の熱気 あちこちで

岩手県は意見書採択
100%

青函トンネルを抜けて青森に入り、北海道との引き継ぎを200人（主催者）の参加者で行いました。その後青森市内を戦争反対、子どもを守ろう、核兵器なくそうと沿道の市民に手を振り、市民にアピールしながら行進しました。



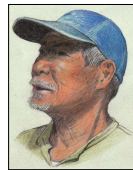
青森県の実行委員会は自治体への事前要請をしていて、懇談は活発かつ和やかに進められ、世界の一部で戦火が収まらない中、平和行進への期待が寄せられていることを実感しました。席上今年のねぶた祭（左写真）

の準備が大詰めに来ていることも話題になりました。

北海道に次ぐ面積を持つ岩手県に6月7日に入りました。岩手県は全国で唯一、県・市町村全34議会で意見書を採択しています。いわて被団協、岩手生協、民医連、農協連、自治労連、新婦人などが活発に核廃絶、平和の課題に取り組んでいます。

組合員6,500人の岩手自治労連は毎年平和行進が岩手に入る一週間前に全県「反核駅伝」を行い、今年は40回目。盛岡市を起点に南と北から4日間700kmの道のりを500人超のランナーが「反核」ゼッケンを付けて走る一大イベントです。ある副町長は懇談の席で「あれは盛り上がりますね。うちの若い職員も走っていましたよ」と。岩手民医連に所属する川久保病院前での集会に続々と参加してくる若い人たちにびっくり（右の写真＝上）。100人を超える集会で院長の歓迎のあいさつの後、若い男女4人が今年の原水禁大会に参加の思いを語り盛大な拍手が送られました。自前のシールやのぼり旗をもって行進に入ると近所の住民から大きな声援が送られました。九戸村では、高校生が飛び入り参加してくれました（写真＝下）。

行進の途中、休憩時に立ち寄る「道の駅」は、その土地の農産物を眺めみるのも楽しみひとつ。いつタケノコが並ぶのかと思っていたら、竹と柿の木は北海道や青森などにほとんどないことが意外でした。（渡邊正郎）



通し行進
わたまさ通信



友の顔が浮かぶ…

森山 幸子 日の出町

両親は戦争で家を焼かれ、戦後、故郷に帰ろうと思っていましたが、縁があって広島県尾道市に住むことになったとのことです。私はそこで生まれ、子ども時代を過ごしました。

小学生になったとき、同じクラスに日本人形のように目のぱっちりとした女の子がいました。あこがれてその子の友だちとなり、家に遊びに行きました。その子のお母さんもやはり美しい人でしたが、寝たり起きたりしていました。それで彼女は、ちょっと寂しそうな顔をしているんだと、子ども心でも感じました。後日、他の友人から「あの子のお母さんは広島でピカドンにあったんだよ」と聞きました。

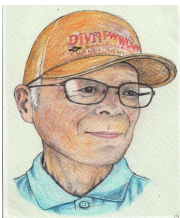
私は広島を離れ、大学生になり、生協でお昼を食べようと並んでいました。「広島・長崎」と書かれたカンパ箱が置いてありました。私の後ろに並んだ男子学生がそれを見たようで、「カンパしてもらいたいのは俺たちのほうだよ」という声が聞こえました。私は突然、あの寂しそうな顔が目浮かび、後ろを振り向き「あなたたちは、広島の方を知らないからそう言うのよ」と叫んでいました。

数十年が過ぎ、還暦の同窓会で彼女に会いました。「結婚したけど子どもには恵まれなくて。夫とカラオケを楽しんでいるのよ」という話を聞きました。平和行進、あまり歩けませんけど今年も参加します。

平和を求め共に行進を

岡口 明 瑞穂町

被爆80年によせて



私は戦争を知らない昭和25年生まれです。今年は後期高齢者の老人です。子どものころ、何気なく母親に戦争のことを聞きました。東京の中島飛行機に動員されていたとき、空襲で多くの人々が亡くなった。そして、残った人たち（女子挺身隊）で、腐敗する死体を積み重ねて焼却しました。つらく悲しい思い出がある。と語ってくれました。そのとき、子ども心にも親に嫌なことを思い出させてしまい、「ゴメンナサイ」と思ったことと、戦争は絶対イヤだ、と心に刻んだものです。

戦争のことを語らない人が多かったのは、あまりにも辛いことばかりだったからだと思います。しかし、この辛いことを語り、平和の大切さを伝え語り継ぐことは、勇気のいる尊いことではないでしょうか。唯一の被爆国で、平和憲法を持っている日本だからこそ、声を大にして「核兵器ノー」、そして一刻も早く核兵器禁止条約を批准して欲しいと思います。

今年も、瑞穂町から米軍横田基地周辺を、元気に平和行進に参加したいと思っています。希望を言えば「一歩でも二歩でも、共に行進を！」との呼び掛けに応え、老人なら歩道から手を振り、若者、子どもなら沿道に出て、共に行進に参加されることが願いです。

オスプレイ・戦闘機 住宅地の飛行反対 米軍横田基地 みんなで座り込み



毎月
第3日曜1時半～
フレンドシップ
パーク（福生市）

◀横田基地祭に行く人たちに訴える座り込み行動(5月18日)